

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年7月2日

【2018年6月23日～2018年6月29日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は低下しました。米国と中国の間での貿易摩擦が引き続き懸念されており、市場のリスク回避姿勢などがブラジル・レアル下落の背景となりました。

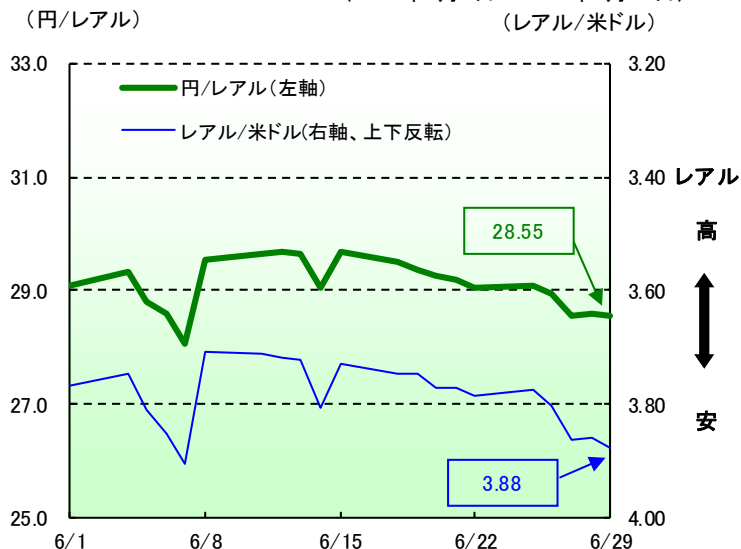
26日（現地、以下同様）には、6月に開催されたCOPOM（金融政策委員会）の議事録が公表されました。経済環境の不確実性が高まる中で、ブラジル中央銀行はインフレの動向を注意深く見守る姿勢を示しました。6月のCOPOMでは政策金利の据え置きが決定されましたが、インフレの上振れが予想される場合には、ブラジル中央銀行は政策金利の引き上げに動くものと考えられます。なお、28日にはブラジル中央銀行がインフレレポートを公表しています。これによると、政策金利の現状維持などの条件の下で2018年のインフレ率はインフレ目標の範囲内に収まると、ブラジル中央銀行は予想しています。

### 【2】今週の見通し

今週は、5月の鉱工業生産、6月の自動車生産台数などが発表される予定です。鉱工業生産は、ストライキによる物流の麻痺の影響を受けて前月比で大幅な減速が予想されています。自動車生産台数に関しては、ブラジルの経済活動がどれだけ正常化したかを見る指標の一つになるとみえています。工場の操業停止を受けて5月の生産台数が下振れており、6月に生産が回復しているか注目です。そのほかには、6月のIPCAインフレ率が発表されるほか、大統領選挙に関する最新の世論調査も公表される見込みです。

### 【ブラジル・レアル 為替推移】

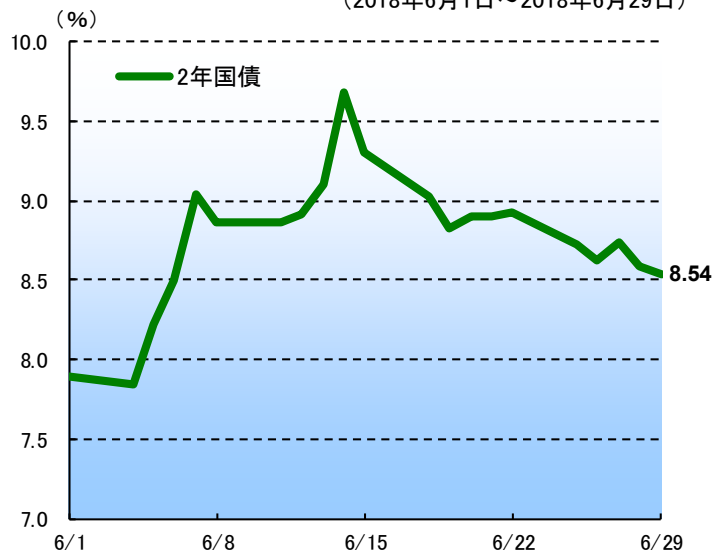
(2018年6月1日～2018年6月29日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【ブラジル 金利推移】

(2018年6月1日～2018年6月29日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>